

【安城市の指導方針】

- 命の大切さを実感し、明るく元気に過ごすことができるたくましい体と、しなやかで折れない心を育てる
- 学び合いによる教育活動を推進し、自ら学び深く考え、主体的に行動する力を育てる
- 一人一人を大切にし、きめ細やかで適切な指導・支援に努める

【愛知県の指導方針】

- 命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う
- 真理を求める態度と、自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う

【特別な支援を要する子どもの把握と理解】

- 特別支援学級の子ども・日本語の指導を要する子ども・通級教室を希望する子ども・通常学級の子ども一人一人の能力や適性に応じた指導を全ての学年・学級で進める
- 特別支援学級と通常学級との交流を進める中で、よりよい支援のあり方を全職員で学び合う
- 専門機関との連携を深める

【校訓】 やさしく かしく たくましく

【めざす子どもの姿】

- すなおで明るく、思いやりのある子 (徳性)
- いのちを尊び、美しさに感動できる子 (感性)
- よく見聞きし、自ら考え、自ら学ぶ子 (知性)
- 体をきたえ、たくましく生きる子 (体力)
- めあてを決めて、やり抜く子 (気力)

【教育目標】

中学校生活へ自信をもって挑戦する子どもの育成

子ども一人一人が集団の中で安定感・充実感・自己有用感を感じ取りながら自分の存在感を高め、自信をもって物事に挑戦していきこうとする姿を育てていく

【取り組みの重点】

- 学校生活のあらゆる場面で継続した取り組みを実践する
- 子どものよさを具体的事実でとらえる
- 個のよさが受け入れられる集団づくりをめざす
- 個のよさを個(集団)に返す
- 自己決定の場を多く設け、望ましい自己決定の力を育てる

- ※安定感：教師・仲間からの愛情と理解に支えられ、「ここにいると安心して生活できるなあ」、「みんな、ぼく(わたし)のことをわかってくれているんだ」という実感
- ※充実感：一人または集団で取り組んだことに対して、「やった」「できた」「できるようになった」という実感
- ※自己有用感：「みんなの役にたっているんだなあ」「ありがとうを言われてうれしかった」「みんなにがんばったねって言われてうれしかった」という実感

【めざす錦町小学校の姿】

- 子どもが毎日通いたくなる学校
- 子どもをよくする学校
- 職員が働きがいのある学校
- 保護者が安心して子どもを託せる学校
- 地域から信頼される学校

【めざす教職員の姿】

- 職場を温かく明るい雰囲気にするために、あいさつと笑顔で心がける教職員
- 互いの人格を尊重し合い、発想や持ち味を生かし合える教職員
- 職務の責任を自覚し、報告・連絡・相談を確実にし、教育目標の達成と問題の解決に丸となって取り組む教職員
- 常に「子どもをよくするためになることか」を問いかけて指導実践する教職員
- 子どもが困ったり悩んだりしたとき、すすんで相談にのる教職員
- 「学び合い活動」を積極的に取り入れ、授業の指導改善・教材の工夫に励む教職員
- 子ども一人一人のよさを見つけ合い、認め合い、伝え合う教職員
- 学校生活のあらゆる場面で発した言葉や行った支援について、相手(子ども・保護者・職員)にとって適切であったかどうかを謙虚に振り返り、今後生かす教職員

【自己決定の場と教職員が心がけること】

- ※自己決定の場・・・自分の行動を自分で選んだり自分で決めたりする場。
- ※教職員が心がけること・・・子どもの決めた行動や発した言動が、まわりのことを尊重し、(自分で)よく考えてから(自分で)判断したものなのか(迷惑をかけていないか)を常に問いかけ、望ましい自己決定の力を育てること

キャリア教育の推進

【特に大切にしたい日常の活動】

- あいさつ
- 歌う活動(音楽集会・児童会行事)
- 清掃活動
- 読書活動
- 給食当番などの係活動(一人一役)
- 外遊び・ペアタイム

【しなやかで折れない心を育てる】

- 【特別の教科 道徳の授業】年間35時間を確実に実践
 - ・子どもの心に響く・心にしみいる授業をめざす
 - ・「命」「しなやかで折れない心」をテーマとした学び合いのある授業実践
 - ・将来に夢や希望がもてる題材・話
- 【学級活動】
 - ・学級等に問題があれば、自分たちで解決しようとする態度を育成する
- 【福祉・実践活動】
 - ・自分の人生を精一杯生きている人、様々な困難を乗り越えて前向きに生きる人に直接出会う体験活動を取り入れる
- 【児童会行事・学年行事・学校行事】
 - ・子どもたちが集中し、熱中し、自分たちでやり遂げたという充実感を味わえるような支援をこまめに行う
- 【ふれあいネット】
 - ・中学生と6年生との交流活動を行う

【錦っ子の5つの基礎・基本】

- ※中学生に向けて身につけてほしい習慣
- ①自分から先にあいさつをする
- ②脱いだ履き物はきちんとそろえる
- ③毎日朝ご飯を食べる
- ④飛び出しを絶対にしない
- ⑤「ありがとう・ありがとうございます」この言葉をたくさん遣う

【心と体の健康づくり・命を守る研修】

- ※学校保健委員会の開催(8月・2月)
- 虫歯と歯垢がある児童について
 - 治癒率100%をめざす(H29 70%)
 - 歯磨き週間の実施
- 給食の残菜対策・食事のマナーについて
 - 錦放送やキャンペーン活動の実施
 - 家庭の協力を呼びかけ
- 基礎運動能力(走力・投力)の低下対策
 - 体育の授業内容の工夫
 - 外遊びの推奨・ペアタイムの活用
 - 長縄跳び大会等の実施
- ケータイ・スマホ使用の低年齢化対策
 - 家庭でルールを決めること
 - 「安城ケータイ・スマホ宣言」の啓蒙
 - ケータイ・スマホ安全教室の実施(10月)
- ※命を守る研修会の開催
 - 救急法講習会(6月)
 - エピペン研修等

【保護者・地域との連携】

- ・安全で、安心して、健康的に生活できる校地・校舎・教室の環境整備に努める
- ・PTA活動の成果・よさをPRするとともに、子どものことについて、気軽に相談できるように努める
- ・いじめを許さない・見て見ぬふりをしない学年経営・学級経営に努めるとともに、子ども一人一人の人格を尊重した指導やいじめ・不登校、問題行動の予防と早期発見・早期対応に努める
- ・あらゆる教育活動における計画・実践・評価・改善を着実に実施し、学校運営の改善と教育の充実に努める
- ・保護者・地域への教育活動の公開とホームページや学校・学年だより等による学校情報の発信を積極的に進める
- ・錦っ子のよさやがんばりを家庭・地域・市民に積極的にPRする